

Proposal of a new seismic resistance
improvement method of RC bridge piers using
pre-bending axialrebars and elucidation of its
load-bearing mechanism

王, 汶鸣

<https://hdl.handle.net/2324/7363748>

出版情報 : Kyushu University, 2024, 博士 (工学) , 課程博士
バージョン :
権利関係 :



氏 名	王 汶 鳴 (ワン ウェンメン)			
論 文 名	Proposal of a new seismic resistance improvement method of RC bridge piers using pre-bending axial rebars and elucidation of its load-bearing mechanism (曲げ加工した軸方向鉄筋を用いた RC 橋脚の新たな耐震性向上策の提案とその耐荷メカニズムの解明)			
論文調査委員	主 査	九州大学	教授	園 田 佳 巨
	副 査	九州大学	教授	濱 田 秀 則
	副 査	九州大学	准教授	玉 井 宏 樹
	副 査	長崎大学	准教授	山 口 浩 平

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本論文は予め曲げ加工した軸方向鉄筋を用いた新材である ED 橋脚を提案し、実験による靱性の検証と解析による ED 橋脚の塑性ヒンジ形成メカニズムの解明を行い、ED 橋脚の靱性推定式を提示するなど工学的に有用な成果を得ており、構造工学上寄与するところが大きい。よって、本論文は博士（工学）の学位論文に値するものと認める。